

磐田市指定管理者選定等委員会

磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場外5施設 指定管理者候補者の選定結果

施設名	磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場外5施設
指定期間	令和8年4月1日～令和13年3月31日（5年間）
選定団体	名称 特定非営利活動法人磐田市スポーツ協会
	所在地 静岡県磐田市見付4075番地
	代表者 会長 高橋 一良
	設立年月 平成13年4月2日
事業内容	1 特定非営利活動に係る事業 (1) 体育・スポーツに関する大会及び講習会等の開催 (2) 体育スポーツの指導、奨励及び競技力向上 (3) 体育・スポーツに関する調査及び研究 (4) 体育・スポーツ施設の整備、拡充の研究及び推進 (5) 体育・スポーツに関する功労者等の表彰 (6) 体育・スポーツ施設の管理運営 (7) 体育団体等の育成強化及び連絡調整 (8) 地域スポーツ振興に関する諸事業の推進
	2 その他事業 (1) 物品販売事業 (2) 興行、出版事業 (3) 前項第2号に掲げる事業は、同項第1号に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その利益は同行第1号に掲げる事業に充てるものとする。
選定経過	令和7年6月13日（金）～6月27日（金） 募集要項配布 令和7年7月2日（水） 現地説明会（3団体参加） 令和7年7月7日（月）～7月14日（月） 質問受付 令和7年7月18日（金） 質問回答 令和7年7月22日（火）～7月29日（火） 応募受付期間 令和7年8月28日（木） 選定等委員会
申請者名 (申請順)	(1) 特定非営利活動法人磐田市スポーツ協会 (2) 磐田SHフィールドパートナーズ
審査内容	(1) 提出書類の確認 申請者から提出された申請書類について、募集要項に定める資格等を満たし、適正に記載されていることを確認。  (2) 経営診断 申請者から提出された財務関係資料をもとに経営診断を実施。安全性分析（会社の財務状態が健全かどうか）、収益性分析（会社が永続的に存続していくために適正な収益を上げているかどうか）、成長性分析（会社の業績や規模が成長しているかどうか）の観点で、選定等委員会の審査項目である「事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有すること」のうち「継続的に安定した管理運営が可能な財政的基盤を有しているか。」の基準を満たしていることを確認。  (3) プレゼンテーション及びヒアリング 実施日 令和7年8月28日（木） 会場 磐田市役所本庁舎1階 第1会議室 プレゼンテーション（10分以内）、ヒアリング（20分程度）を申請者ごとに実施。  (4) 審査 申請書類、経営診断結果、プレゼンテーション及びヒアリングの内容を基に指定管理者選定基準（別紙）に掲げる審査項目ごとに5段階評価を行い、点数を集計して各委員の評価点とする。

	<p>委員ごとの評価点を合算したものを提案内容に対する総合評価点（委員数8人×200点=1600点満点）とし、総合評価点数が最も高い団体を指定管理者候補者に選定。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委員名</th><th>所属・役職名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐藤 知条</td><td>学識経験者</td></tr> <tr> <td>飯田 龍二</td><td>市民の代表者</td></tr> <tr> <td>山本 哲也</td><td>市民の代表者</td></tr> <tr> <td>内野 昌美</td><td>磐田市 副市長</td></tr> <tr> <td>鈴木 賢司</td><td>磐田市 総務部長</td></tr> <tr> <td>真壁 宏昌</td><td>磐田市 企画部長</td></tr> <tr> <td>鈴木 壮一郎</td><td>磐田市 教育部長</td></tr> <tr> <td>伊藤 修一</td><td>磐田市 自治市民部長</td></tr> </tbody> </table>	委員名	所属・役職名	佐藤 知条	学識経験者	飯田 龍二	市民の代表者	山本 哲也	市民の代表者	内野 昌美	磐田市 副市長	鈴木 賢司	磐田市 総務部長	真壁 宏昌	磐田市 企画部長	鈴木 壮一郎	磐田市 教育部長	伊藤 修一	磐田市 自治市民部長
委員名	所属・役職名																		
佐藤 知条	学識経験者																		
飯田 龍二	市民の代表者																		
山本 哲也	市民の代表者																		
内野 昌美	磐田市 副市長																		
鈴木 賢司	磐田市 総務部長																		
真壁 宏昌	磐田市 企画部長																		
鈴木 壮一郎	磐田市 教育部長																		
伊藤 修一	磐田市 自治市民部長																		
審査結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選定団体名</th><th>総合評価点数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定非営利活動法人磐田市スポーツ協会</td><td>1,105点</td></tr> <tr> <td>磐田SHフィールドパートナーズ</td><td>1,005点</td></tr> </tbody> </table> <p>磐田市スポーツ協会は、磐田市の体育施設の現状や目的を十分に理解しており、長年指定管理をしている為、使用者に沿った良い提案がされていた。また、利用者の声を生かした積極的な修繕計画が盛り込まれ、本来市が行うべき修繕も事業者側で実施している。利益等についても全額を市のスポーツ振興の原資にする計画である。</p> <p>磐田SHフィールドパートナーズは、経費削減策が実現できれば素晴らしい。</p> <p>以上、総合的に判断し、基本方針、施設の効用拡充、地域貢献の観点で他の応募者を上回り、総合評価点数で最高得点を得た磐田市スポーツ協会を磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場外5施設の指定管理者候補者として選定する。</p>	選定団体名	総合評価点数	特定非営利活動法人磐田市スポーツ協会	1,105点	磐田SHフィールドパートナーズ	1,005点												
選定団体名	総合評価点数																		
特定非営利活動法人磐田市スポーツ協会	1,105点																		
磐田SHフィールドパートナーズ	1,005点																		